

高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【女子】第4節 第1日

開催日時 9月8日(土) 会場 日光市ホッケー場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 13:00	山梨学院CROWNING GLORIES	0	$\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$	4	東海学院大学
第2試合 15:00	グラクソ・スミスクリン	0	$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	3	ソニーHC BRAVIA Ladies

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院CROWNING GLORIES 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$ 4 東海学院大学

勝点 6
1 勝 3 分 3 敗

勝点 15
5 勝 0 分 2 敗

<得点>

山梨学院 :
東海学院 : 4分永井、37分日隈、43分浅海、69分永井

<戦評>

2012ロンドンオリンピックで中断していた高円宮杯2012女子ホッケー日本リーグが再開。第4節第1日目の第1試合は、山梨学院CROWNING GLORIESのセンターパスにより開始された。4分東海学院大学FW#9永井のヒットシュートが決まり先制。その後、両チーム共にペースを掴めずに一進一退の攻防が続く。31分東海学院が退場者を出しひとり少ない時間に山梨学院が攻めるが得点ならず前半終了。
後半開始早々37分東海学院MF#8日隈のタッチシュートが決まり2-0。その後も43分にPCのリバウンドを東海学院FW#15浅海が決め3-0。51分山梨学院がPCを奪うも得点できず。終了間際69分#9永井がこの日2得点目を挙げ4-0とし試合終了。

テクニカルオフィサー	杉原 広	アンパイア	水谷 吉男
ジャッジ	関根 由美子		野澤 茂

第2試合

グラクソ・スミスクライン 0 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$ 3 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 6
2 勝 0 分 5 敗

勝点 19
6 勝 1 分 0 敗

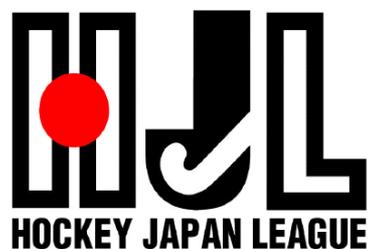
<得点>

グラクソ :
SONY : 15分村上、22分飯村、38分佐藤

<戦評>

ソニーHC BRAVIA Ladiesのセンターパスにより試合開始。立ち上がりからSONYが積極的に攻めこむ中、グラクソ・スミスクラインも攻撃の機会をうかがい一進一退の攻防が続く。6分にはグラクソがPCを奪うが得点ならず。15分SONYのFB#4村上がPCを決め先制。22分にはSONYのMF#19飯村が23mラインからの斜めのパスをタッチしてゴール。2-0で前半終了。
後半開始早々、前半の勢いそのままSONYが攻め込み38分にSONYのMF#11佐藤がPCからのタッチシュートを決め3-0。その後互いにPCを取り合うが堅い守備により得点ならず。激しい攻防の未追加点がなく試合終了。

テクニカルオフィサー	杉原 広	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	関根 由美子		我妻 順子



高円宮杯 2012ホッケー日本リーグ【女子】 第4節 第7日

開催日時 9月8日(土) 会場 立命館大学校野ホッケー場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 13:00	コカ・コーラウエストレッドスパークス 3 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行
第2試合 15:00	立命館大学ホリーズ 1 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

【各試合の結果・詳細】

第1試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 3 $\left(\begin{array}{ccc} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{array} \right)$ 0 南都銀行

勝点 18
6 勝 0 分 1 敗

勝点 11
3 勝 2 分 2 敗

<得点>

コカ・コーラ：33分朴、45分三橋、65分金

南都銀行：

<戦評>

ロンドン五輪後初の日本リーグ。両チーム合わせて4名の五輪代表選手が出場し、そのプレーにも注目が集まった。
南都銀行のセンターパスで試合開始。序盤は一進一退。どちらもサークル付近までは攻め込むが、決定的なチャンスを作れない。20分、CCWRは#18李が右からドリブルでえぐりサークルに侵入しPCを獲得。立て続けに2本のPCを得るが、南都の堅い守備の前に得点することが出来ない。その後もCCWRの時間が続き、31分、CCWR#16金が左サイドをドリブルで突破しPCを獲得。33分、アゲインとなった2本目のPCで、CCWRは南都のキーパーがセーブし右にクリアした球をセンタリング、最後はゴール前の混戦からこぼれた球を#2朴が押し込み先制点を挙げる。そのまま前半が終了する。
後半に入ってもCCWRの攻勢は続き、46分、#9新井の左サイドからリバースヒットでのセンタリングに#7三橋が合わせて追加点を挙げる。まずは1点を返したい南都もPCを獲得しチャンスを作るが、決め手を欠き得点には至らない。逆にCCWRは65分に得たPCを、#16金がGKの手前でしっかり合わせて突き放す。そのまま3-0でCCWRが勝利した。

テクニカルオフィサー	安枝 和子	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	原野 裕子		壽山 田樹

第2試合

立命館大学ホリーズ 1 $\left(\begin{array}{ccc} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{array} \right)$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 4
1 勝 1 分 5 敗

勝点 1
0 勝 1 分 6 敗

<得点>

立命館大学：65分一谷麻実

天理大学：

<戦評>

立命館のセンターパスで試合が開始された。最初にチャンスを得たのは立命。6分と14分にPCを得るが、得点することができない。対する天理もPCでチャンスを作るが、得点できず。両チーム先取点を取り、主導権を握りたいところだが、一進一退のままスコアレスで前半を終える。
後半に入っても両者決め手を欠く展開が続く。そんな均衡が破れたのは66分、立命はPCから#15一谷がヒットシュートを豪快にゴール右に決め、待望の先制点を挙げる。対する天理も終盤に立て続けにPCを得て、追い上げるが、立命守備陣の堅い守りにより得点できない。獲得したPC数も6本ずつ。互角の戦いであったが、チャンスで決めきった立命が1-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	安枝 和子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	原野 裕子		竹内 高広